

五日町小学校、大巻小学校の学区再編検討について

1. 説明経過

市教育委員会は、児童・生徒の減少を踏まえて、市立小・中学校の適正配置問題について議論するため、平成 20 年 11 月に南魚沼市立小・中学校学区再編検討委員会からの答申を受けています。

この答申のなかで、五日町小学校、大巻小学校についても、学区再編の対象となっているため、平成 26 年度に大巻地区全域で、この方針説明並びに意見交換会を行ってきました。

3中学校統合対応などもあって動きは少し停滞していましたが、教育委員会では平成 28 年 8 月 24 日に、この問題についての地元意向の集約に向けて取り組むことを確認しました。

教育委員会としては、大巻地区の意向を集約する組織として、仮称「大巻地区 五日町小学校・大巻小学校の学区再編検討会」を立ち上げていただきたい。とする主旨を地域の学校 PTA 保護者・学校評議員・保育園保護者会・行政区長会・地域コミュニティ協議会など関係する組織代表者に伝達し、説明会開催の働きかけを行い、それぞれの組織から代表の委員参加のお願いをするために説明会を順次開催してきました。

さらに、地区の子どもたちの教育環境について、大巻地区市民すべての方から関わっていただきたいとの願いから検討委員への一般公募も行いました。

学区再編についての説明会等の開催経過

- 28.8.31 午後 7:30～ 大巻開発センター(大巻地区コミュニティ協議会)行政区長説明会
参加行政区長 16 名
- 28.9.1～五日町小学校・大巻小学校、大巻中学校学校評議員へ電話等での直接説明と検討会への出席依頼
- 28.9.2 午後 7:30～ 大巻小学校 PTA常任委員会説明会
保護者役員 19 名
- 28.9.5 午後 4 時～ 五日町保育園 保護者役員会説明会
保護者役員 4 名
- 28.9.5 午後 7 時～ 四十日保育園 保護者役員会説明会
保護者役員 5 名
- 28.9.7 午後 2 時 30 分～ 五日町小学校 保護者参観日、説明会
保護者 29 名
- 28.9.8 午後 3 時～ 大巻小学校 保護者参観日説明会
保護者 31 名
- 28.9.8 午後 7 時～午後 7 時 50 分 大巻中学校 保護者説明会
保護者 7 名
- 28.9.15 市報折込みで、大巻地区全戸に検討会への一般公募チラシ配布

- 28.9.27 午後7時～午後7時45分 五日町保育園 保護者説明
保護者 11名
- 28.9.28 午後7時～午後7時50分 大巻中学校 保護者説明会
保護者 4名
- 28.9.29 午後7時～午後7時45分 四十日保育園 保護者説明会
保護者 13名
- 28.11.5 午前11時半～ 五日町小学校保護者説明会 保護者数名
- 28.12.3 午前11時～ 四十日保育園・五日町保育園保護者説明会
各お遊戯会終了後(多数名)
- 29.1.12 午後7時～ 五日町保育園保護者説明会 保護者5名

2. 五日町・大巻小学校の現状について

統合校舎の位置について

二校の建築年度は、五日町小学校が昭和55年3月、大巻小学校が昭和53年3月と、いずれの学校も36年以上経過し老朽化しており、長期的な利用は困難な状況となっています。

大巻、城内、五十沢地区においては現在八海中学校の建設が進められており、大巻中学校は平成30年4月より空く予定となっています。同中学校は平成6年に建設され、建設後22年経過とまだ新しく設備も充実しています。また、中学校は大巻地区の中心に位置し、一番遠い集落からの通学距離も 2.8 kmと国の施設費国庫負担法で定める小学校 4 km以内の基準をクリアしています。

大巻中学校 施設の状況

校舎建築年度	平成6年8月
校舎述べ面積	3,654 m ²
敷地面積	29,646 m ²
大規模改修	平成14年度(空調)、平成19年度(EV)

現状における統合の検討

1. 小学校小規模校における課題

※学校規模によるメリット・デメリット(例)

(学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省で作成したもの及び他自治体の検討事例から抜粋)

	小規模化	
	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。(IT教育、英語教育など) ●学校行事や部活動等において、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。 ●クラス替えが無いので、互いの関係を深めていく学級づくりをしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ●1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。 ●運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ●児童、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ●児童相互の人間関係が深まりやすい。 ●異学年間の縦の交流が生まれやすい。 ●児童一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ●切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。 ●組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。
学校の運営面	<ul style="list-style-type: none"> ●全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ●学校が一体となって活動しやすい。 ●施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨が行いにくい。 ●校務分掌や地域社会との連携、教育委員会への調査報告等で教員の一人の役割が相対的に多くなる。 ●緊急対応時や学級経営に問題が生じた場合等、他の教員の支援体制を構築することが難しくなることがある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者や地域社会との連携が図りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

2. 児童数及び学級数の見込み

※28.5.1 現在の状況 ()内は学級数

年度	学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
28年	五日町小学校	10(1)	16(1)	12(1)	15(1)	14(1)	14(1)	81(6)
	大巻小学校	10(1)	16(1)	15(1)	12(1)	16(1)	17(1)	86(6)
	計	20(1)	32(2)	27(1)	27(1)	30(1)	31(1)	167(7)
29年	五日町小学校	16(1)	10(1)	16(1)	12(1)	15(1)	14(1)	83(6)
	大巻小学校	12(1)	10(1)	16(1)	15(1)	12(1)	16(1)	81(6)
	計	28(2)	20(1)	32(1)	27(1)	27(1)	30(1)	164(6)
30年	五日町小学校	10(1)	16(1)	10(1)	16(1)	12(1)	15(1)	79(6)
	大巻小学校	9(1)	12(1)	10(1)	16(1)	15(1)	12(1)	74(6)
	計	19(1)	28(1)	20(1)	32(1)	27(1)	27(1)	153(6)
31年	五日町小学校	13(1)	10(1)	16(1)	10(1)	16(1)	12(1)	77(6)
	大巻小学校	12(1)	9(1)	12(1)	10(1)	16(1)	15(1)	74(6)
	計	25(1)	19(1)	28(1)	20(1)	32(1)	27(1)	151(6)
32年	五日町小学校	10(1)	13(1)	10(1)	16(1)	10(1)	16(1)	75(6)
	大巻小学校	12(1)	12(1)	9(1)	12(1)	10(1)	16(1)	71(6)
	計	22(1)	25(1)	19(1)	28(1)	20(1)	32(1)	146(6)
33年	五日町小学校	11(1)	10(1)	13(1)	10(1)	16(1)	10(1)	70(6)
	大巻小学校	7(1)	12(1)	12(1)	9(1)	12(1)	10(1)	62(6)
	計	18(1)	22(1)	25(1)	19(1)	28(1)	20(1)	132(6)
34年	五日町小学校	10(1)	11(1)	10(1)	13(1)	10(1)	16(1)	70(6)
	大巻小学校	8(1)	7(1)	12(1)	12(1)	9(1)	12(1)	60(6)
	計	18(1)	18(1)	22(1)	25(1)	19(1)	28(1)	130(6)

(注1)現時点で出生数から把握できる児童数見込みは、小学校で平成34年度まで。

(注2)学級数は普通学級の数を表示。(現時点で特別支援学級数はなし)把握している全生徒数を現学級編成基準(1学級40人。ただし、小学校1,2年生は32人学級)で計算している。

◎この推移でみると、大巻小学校が平成35年に、2年生と3年生で1学級を編成することとなる。

(※複式学級の特徴:他の学年の児童と合わせて16人までのときは、1学級を編成する。ただし、1年生を含むときは、8人とする。)

児童数の推移より

① 小学校における教職員の配置基準(養護教諭、事務、学校栄養職員は含まない)

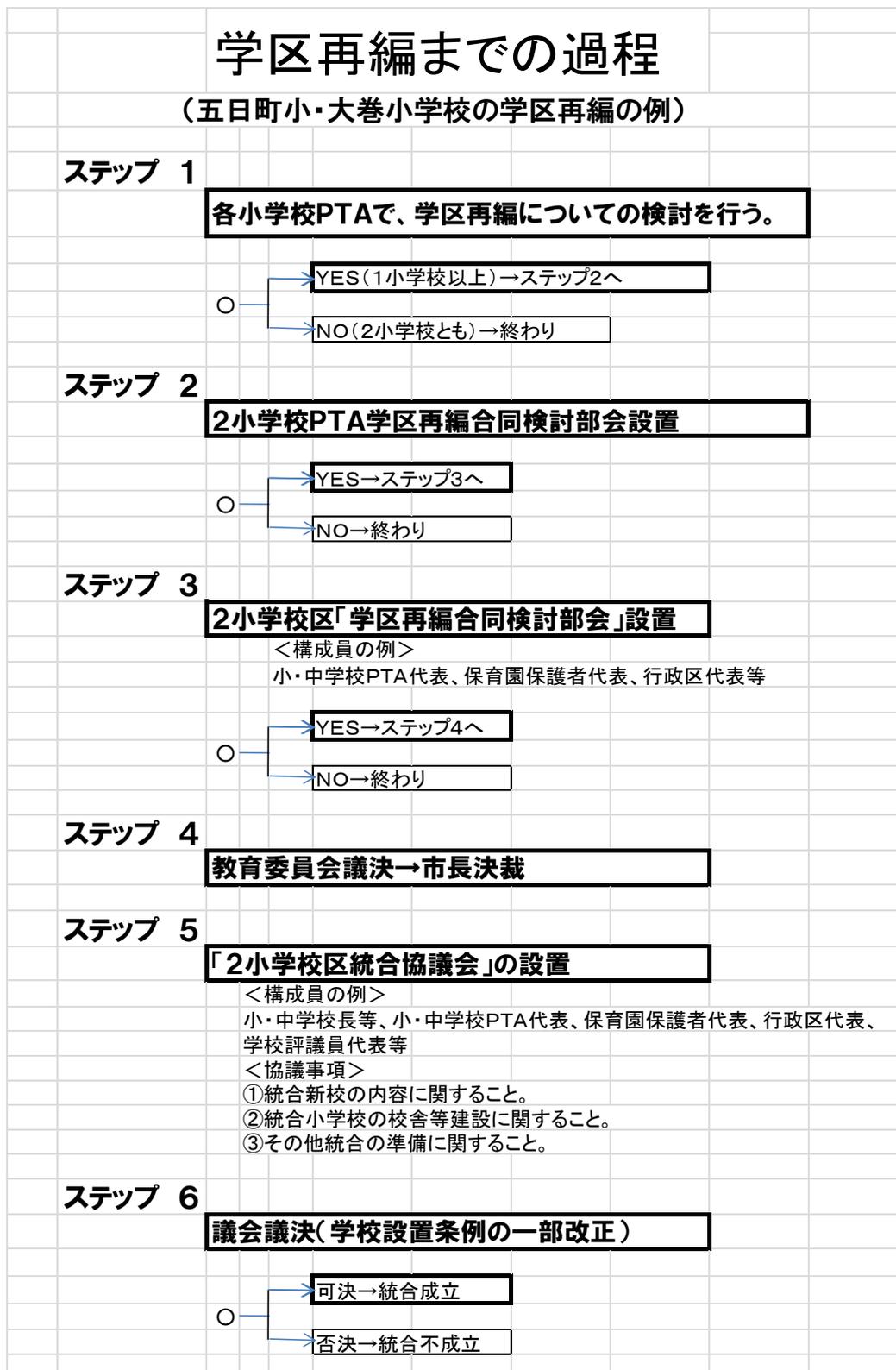
・学級数6の場合…学級担任6人+校長、教頭=8人

(養護教諭、事務、学校栄養職員の三職は含まない)

・学級数7の場合…学級担任7人+校長、教頭2人+教務主任1人=10人

教職員配当基準					
(校長、教頭含む。 養護教諭、事務、学校栄養職員の三職は含まない。)					
学級数	配当数	学級数	配当数	学級数	配当数
4	6	8	11	12	15
5	7	9	12	13	16
6	8	10	13	14	17
7	10	11	14	15	18

3. 学区再編までのステップとして



※ステップ3の段階に至る。(29年1月20日現在)

4. 学区再編検討会の経過報告

○第1回検討会 28年10月27日開催（検討会役員75名中、50名出席）

「大巻地区 五日町小学校・大巻小学校の学区再編検討会」設立について規約の設置
「大巻地区 五日町小学校・大巻小学校の学区再編検討会」役員選任(会長・副会長)
議事として…

「学校適正配置の概要と大巻地区の小学校の状況説明

今後の検討会の進め方について…

年度内(平成29年3月)までに一定の結論を導く

地域としてどのように考えていくか、特に保護者(小学校・保育園)の意見集約が必要
(次回まで集約)

○第2回目検討会 28年12月15日開催（検討会役員73名中、46名出席）

保護者(小学校・保育園)代表役員から意見集約の報告、各組織団体からの経過報告

・五日町小学校

賛否を問う意思確認はしていなく、不安な点などの意見として、主に通学面が不安な要素。はっきりとした反対はない。

・大巻小学校

意見交換と意見集約を行う。49名中、賛成34名、反対1名、保留14名

賛成者からは、複式学級は嫌、人数の多いクラスで学ばせたい。統合前に交流を。

・五日町保育園

反対意見はない。ただ通学路の安全性を確保してほしい。

・四日町保育園

36世帯に意見集約中、回答17世帯

賛成16世帯、先延ばし1世帯、反対意見は無

不安な点として、通学路が心配。バス通学、特に冬場のバスがどうなるのか心配。

学童がどうなるのか。少人数で中学に行くよりは、小学校である程度人数が多い方が
良い。統合してもその後また統合となるのであれば先延ばしにしても良いのでは。

・各組織団体(大巻地区地域づくり協議会)

小学校や保育園の保護者の意見を聞いてバックアップしていく。

以上2回目の検討会では意見がまとまらず、再度検討の余地があるとのことで、次回までに不安に思っている保護者に対して検討を重ねていく。

○第3回目検討会 29年1月20日開催 (検討会役員73名中、39名出席)

第2回の検討を受けて、各学校・園より意見集約の報告

・五日町小学校

統合賛否のアンケート結果 59世帯中、49世帯が回答

賛成77% (どちらでもよいを含む) ただし、不安を抱えている方がいるので、慎重な検討(説明)と積極的な情報提供が必要とのこと。

・大巻小学校

前回の意見集約後、質問のあった「Q&A」を配付

合併すべきとの意見があり、統合の方向で進めていきたい。

・五日町保育園

年末にアンケートを提出したが、反対の意見はなし。

29年1月12日に再度説明会を実施。(通学路と学童の問題がでる。)

・四十日保育園

質問のあった「Q&A」を配付

保護者は賛成が多い。

・その他

不安な要素はあるが、地域としても協力(共有)を行い、今後に向けてできるだけ早めに無理のない方法を考えていく。

※以上、これらの意見(報告)を踏まえて、出席全委員から「統合として決定」することで了承された。

検討会としての意見として

(1) 五日町小学校と大巻小学校の統合協議を開始する。

(2) 平成30年4月に空く現大巻中学校を設置場所として活用する。

(3) 平成31年4月1日統合新設の開校に向けて統合準備を進める。

次回の検討会に向け、今迄の経過と統合協議会を立ち上げることについて、今後に向けたスケジュール等を事務局で作成する。

また各行政区に「大巻地区 五日町小学校・大巻小学校の学区再編検討会ニュース」を配付し周知する。

次回、第4回検討会を平成29年2月17日(金)とする。